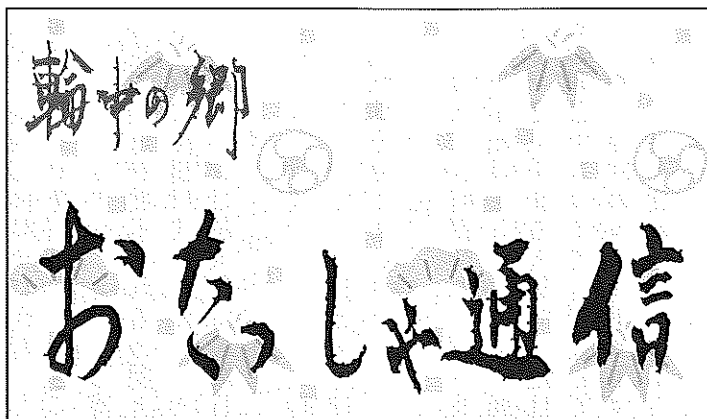


## 第84号



社会福祉  
法人 弥富福祉会

特別養護老人ホーム 輪中の郷  
指定居宅介護支援事業所 輪中の郷  
デイサービスセンター 輪中の郷  
弥富市デイサービスセンター  
弥富市南デイサービスセンター

〒498-0000  
愛知県弥富市大藤町5番地3  
TEL (0567)65-5531  
FAX (0567)65-5536  
E-mail info@yatomifukushikai.com  
URL http://yatomifukushikai.com

# 新年のご挨拶



理事長

山田 耕一

新年明けましておめでとうございませう。

輪中の郷入居者様、デイサービス利用者様、そのご家族ご親族の皆様、そのほか弥富福祉会関係者の方々に、スタッフ一同と共に、新年を迎えられたお喜びを申し上げます。ご一同様お揃いで、新しい年を迎え今年も健康第一で、甚大な被害が起きないようにと願い、平穩で過ごしやすい良い年でありたいと、心の決意を新たにしてみえることと存じます。

昨年は、第8回ラグビーワールドカップ(4年に一度世界登録85ヶ国中、地域予選を勝ち抜いた20ヶ国が、予選リーグを突破して決勝トーナメントで世界一を争う大会)は2019年日本開催)が、イングランドのロンドン中心で開催されました。日本は過去7回中1戦しか勝っていないことから、当然のように劣勢と評価されていま

したが、優勝歴2回を誇る世界屈指の強豪チーム南アフリカ

(ケープタウン近郊に居住するヨーロッパ人主体のチーム)にノーサイド(試合終了をラグビーでは左右のサイド、すなわち敵味方が無くなると、こう呼んでいます)直前に逆転勝利して、一躍世界から注目を浴びることになりました。また、7人制ラグビー(コート・ルールは15人制と同じですが、時間は40分―休憩10分―40分)に対して、7分―休憩1分―7分)では、今年8月開催のリオネジャネイロで開催されるオリンピック種目となり、男子は昨年11月に香港で20ヶ国からなるアジア予選に優勝して出場権を取っています。女子も香港で10ヶ国の予選リーグを勝ち抜き、決勝リーグで優勝しましたが、リオへのチケット戦いは年末に日本で行われ、桜ジャパンは見事、出場権を得ました。これらの事や、五

郎丸選手のくり返すキックパフォーマンス(ルーティン)から、ラグビー熱がにわかに湧いてきましたので、私事を含めて新年号のご挨拶に書かせていただきます。

私は昭和38年(1963年)20歳の時、ラグビーの日本代表選手に最年少で選ばれ、カナダ・アメリカに約一か月間遠征(5戦中4勝1敗)いたしました。戦後初の海外遠征の初戦で初トライしたことは、日本ラグビー史にも掲載されています。また、高校指導者になつて平成8年度(1997年)第76回大会で、名古屋市立西陵商業高校を全国制覇させることが出来ました。定年退職後は、地元豊田自動車機チームをジャパントップリーグ(全国約1,200登録中、上位16チームの総当たり戦のグループ)に昇格させる事も出来ました。人生の大半をラグビーに関わったのは、弥富中学校の体育の授業で故伊藤和彦先生から教

わったのがきっかけです。こんな訳から昨年10月ラグビーイングランド大会準決勝2試合二日間の観戦に出掛け、ついでにフランス(英・仏は2年ぶり2度目です。パリから帰国後2週間程で129名の犠牲者と352名の負傷者を出す大規模な同時テロが起こり、間近なことで身震いする驚きでした)とイタリアへ。ミラノ万博に弥富の金魚が展示されると聞き、楽しみに出掛けましたが、ジャパンパビリオンは超人気で最終日の前日午前10時頃は、既に1,000人の行列で、なんと8時間待ちでしたので、外観とお並びの行列状態を見てまいりました。この2、3日前は、なんと1,500人、10時間待ちと聞きました。日本館は150ヶ国の出展國中1、2位を誇る人気で、連日長蛇の列とマスクミでも報道していました。今回のエクスポテーマは「食」、日本食の寿司・天ぷら・うどん・蕎麦に人気があり、特に蕎麦が一番らしく、その他日本の四季・テクノロジー・日本人の生活水準・親切さが人気と知り、気分良くして万博会場をあとにしました。更に足を伸ばして、サンタ・マリア・デッレ・グラツツェ教会の壁画、レオナルド・ダ・ヴィンチ最高傑作といわれる「最後の晚餐」を昨年2月にも観賞しまし

たが、30人ずつ15分間の観賞しかできなかったもので、8ヶ月後に再び訪れて、次はもう見られないかもと、穴が開くほど見つめてまいりました。また、11月には香港にも出掛けて、7人制オリンピック・アジア予選のリオチケット獲得までの全試合を見てまいりました。

ロンドンヒースロー空港には、羽田から約12時間半掛かっの長旅で、ジェットラグ(時差)に悩まされながらの試合観戦でしたが、ツイッケナムラグビースタジアムは8万2千人収容の世界一憧れの聖地であることと、1試合約5万6千円のチケット(中央席は約10万円)ですが、一席の空席も無く、世界超一流の試合を目の当たりにして観戦することが出来大満足でした。海外へは20歳から、試合・チーム引率・教育視察や観光・選手スカウト等で現在20数ヶ国訪問、今回は52回目でありましたが、足腰の調子が良ければもう少し出掛けたいと、欲張って日々健康管理に留意しています。

一方、英・仏・伊の老人施設の状況も友人・知人を介して、深く尋ねてまいりました。元々この地方は、親子の家族が同居したり、子供が親を看っていく習慣が日本より希薄なため、高齢者対応施設の歴史は古く、社会福祉状況は行き

届いているようです。そのためか、税金や物価は日本よりかなり高く感じますし、都心部では一戸建て住宅は殆どありません。香港やシンガポール、韓国の農村部でも徐々に個人一戸建ては見られなくなりつつあります。そのため、50、60階建以上の超高層集合住宅のビルの一室や何階かのフロアー全体が施設になっているところが多くあります。日本のように独立した建物が施設になっているところや、日本各地に見る先祖代々の墓は見かけませんでした。残念ながら施設内を見学していませんので詳しくは分かりませんが、日本の団塊世代が差し迫る状況はなく、若者や中高年世代は安心して日常生活を楽しんでいるように見受けられました。私が訪問したところのある東南アジア(中国・台湾・ベトナム・カンボジア・インドネシア・タイ・ミャンマー・スリランカ)では宗教の関係からか、高齢者と若者家族との同居が多く見られ、そして先祖からの大きな墓があちこちに見受けられました。カナダ・アメリカ・オーストラリアやニュージーランドはヨーロッパ大陸と同じようなスタイルと感じています。

日本では近年、高齢者を敬う風習が、「核家族化」や「個」を大切に

ていくような気がして心が痛みます。何もかも西洋のまねをするのは如何なものかと疑問を持ちます。またの機会がありましたら、海外の旅行記や施設状況などを書かせていただきます。最後になりましたが、医療関係の皆様、民生委員の皆様、JA関係の皆様、地域の皆様、そしてボランティア関係の皆様、そして弥富福祉会を代表いたします。今年も皆様にとって良い年でありますよう祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

